

令和2年度 森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	事業費（千円）			事業内容	事業実績	税導入の効果（総括）	
		(A)+(B)+(C)	(A)うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）				(C)うち他の財源（千円）
意向調査の準備作業	森林整備促進事業	1,045	1,045	0	0	意向調査の結果、森林経営計画作成に前向きな森林所有者の所有林について、現況調査を実施、施業提案書の作成等を民間業者に委託	現況調査 林小班：15か所 調査面積：5.49ha 所有者数：3名	<p>本市は所有面積の小さい森林所有者が多く、世代交代や市外への転出などを機に森林整備の行き届かない森林の増加や森林以外の用途への転用が懸念される状況にあることから、森林環境譲与税を活用し森林経営計画の作成を通じて、適切な森林整備を推進することとして取り組んでいる。</p> <p>令和2年度は森林整備に前向きな森林所有者3者の森林の現地調査、施業計画書を提案し、森林経営計画の作成に繋げることができた。また、新たに私有林11.96haにおいて間伐を実施したほか、担い手対策として冬季間に林道の法面伐開等の作業を実施し、就労期間の延長や路網の安全性を維持することができた。</p> <p>次年度以降も、令和元年度に実施した意向調査を踏まえて、私有林の現地調査、施業計画書の作成、私有林の整備のため市独自の上乗せ補助を行う。そのほか、担い手の通年雇用化の促進、森林の公益的機能への理解促進のための森林環境教育などを実施する。</p> <p>また、地域の担い手に、通年で森林施業ができる体制が整うに従い、森林整備量が徐々に増大することを見据えて、残額を基金に積み立てる。</p>
私有林整備	森林整備促進事業	3,542	3,542	0	0	「帯広市私有林等整備事業」により、計画的な森林整備を推進するため市独自の補助を実施（標準事業費×68%（国庫補助事業と同額補助））	間伐 実施面積：11.96ha	
担い手確保	森林整備促進事業	1,925	1,925	0	0	林道事業体における冬季間の事業量確保への支援として、林道等維持管理業務を閑散期に発注	事業体への助成 事業体数：1社 支援対象者：115人 (延べ人数)	
林業就業者の育成	森林整備促進事業	100	100	0	0	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会を通じ、北海道立北の森づくり専門学院の学生を支援	支援実績 学院数：1校 入学者数：R1 34名 R2 40名	
その他（人材育成等）	森林整備促進事業	43	43	0	0	森林環境譲与税の活用を推進するため、林務担当者研修会を受講	研修参加 回数：1回 参加者数：1人	
基金積立（森林整備等）	森林環境振興基金積立金	23,791	23,783	0	8	森林整備の一層促進のために創設した「帯広市私有林等整備事業」の利用増に備えるため基金へ積立		